

キッズネット天理 活動方針

『キッズネット天理は発達障害の当事者、発達障害のある子どもの保護者、発達障害に関する支援をおこなう人々が繋がりあい、広く発達障害についての啓発活動を進めるとともに、教内で発達障害の相談支援の拠点として活動する団体です。』

キッズネット天理は 2009 年 2 月に開催された、ひのきしんスクールシンポジウム「発達障害のある子どもへの理解と支援」をきっかけに発足しました。発足時の思いについては「キッズネット天理設立趣意書」を参照していただきたいと思います。

発足後の活動は主に茶話会の開催、子どもおどばがえりキッズネット天理隊、公開講座の開催の 3 つでした。当初、茶話会にはたくさんの参加者があり、相談も多く寄せられました。キッズネット隊も参加者、スタッフを合わせて 100 名を超える年もありました。公開講座も年に 2 回発達障害に限らず、子どもに関する様々なテーマを取り上げて実施しました。ただ、時間が経つにつれて、すべての活動への参加者が減少してきていたのも事実でした。そして、発足 11 年目を迎えた 2020 年、新型コロナウイルスの感染拡大が始まりました。以来、ほとんど、すべての活動がストップしています。

2022 年、キッズネット天理の代表が田中善一氏から、辻真一へと代わることになり、それに伴って、新規委員を加えた運営委員の任命が行われました。その過程で、今後の活動方針も検討されました。その中で、従来のキッズネット天理趣意書は設立時の思いを残すために、「キッズネット天理設立趣意書」として残すこと。また、これからの組織及びその方向性を活動方針として文書化することになりました。

従来キッズネット天理の活動方針は「キッズネット天理は、子どもに身上・事情を見せていただいているようばく、そして子どもに関する活動をしているようばくがつながりあい、互いに学びあい、刺激しあって、子どもをとおして世界だすけを展開するためのネットワークです。」と設立趣意書の終わりに記載されていました。

2022 年キッズネット天理が再スタートするに当たり、今後の活動方針を以下のように明記します。

『キッズネット天理は発達障害の当事者、発達障害のある子どもの保護者、発達障害に関する支援をおこなう人々が繋がりあい、広く発達障害についての啓発活動を進めるとともに、教内で発達障害の相談支援の拠点として活動する団体です。』

つまり、キッズネット天理は今後、発達障害に関して、情報発信をするとともに、発達障害に関する相談の受け皿になっていくことを表しています。キッズネット天理が発足してからの 10 数年、教内にはひきこもり、不登校など、さまざまな分野でネットワークが出来てきました。設立当初は「子どもに現れるさまざまな身上・事情」を意識して活動していましたが、近年の多様化により、活動の趣旨が曖昧になってきていたかもしれません。今後は発達障害に特化した活動にシフトしていきたいと考えています。今後ともご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2023 年 4 月

キッズネット天理 代表 辻 真一